

コロナからなかまを、手話通訳派遣事業を救う！

緊急カンパのお願い

社会福祉法人 東京聴覚障害者福祉事業協会

後援会会員の皆さま、ご支援いただいている皆さま、
法人事業も新型コロナウイルスの影響を大きく受けています。

法人設立以来の危機的状況が迫っています。

東京都内の聴覚障害者・ろう重複者の福祉を守るためご協力をお願いします！

収入の危機

- ・たましろの郷やクラブかたつむりなどの事業では、通所中心になかまの利用が減っています。
- ・東京手話通訳等派遣センターでは、手話通訳者や要約筆記者の派遣件数が2月以降大幅に減少している状態が続いています。3月は半数以下の派遣件数。4月はさらに厳しい状況です。どの事業所も今後ともどうなるのか見えない状態です。

「コロナ感染が終息したら事業がつぶれてしまっていた…」というのでは、ろう重複のなかま、東京の聞こえない方々への支援、情報保障ができなくなってしまいます。

事業継続のためのカンパにどうぞご協力ください。

なお、カンパは法人がまとめてお受けし、必要に応じて各事業に配分させていただくことをご了承下さい。(裏面の参考資料をご覧ください)

物品の不足

施設で生活・通所しているなかま、職員、派遣に出かける手話通訳者・要約筆記者の感染予防のため、下記の物品が大変不足しております。

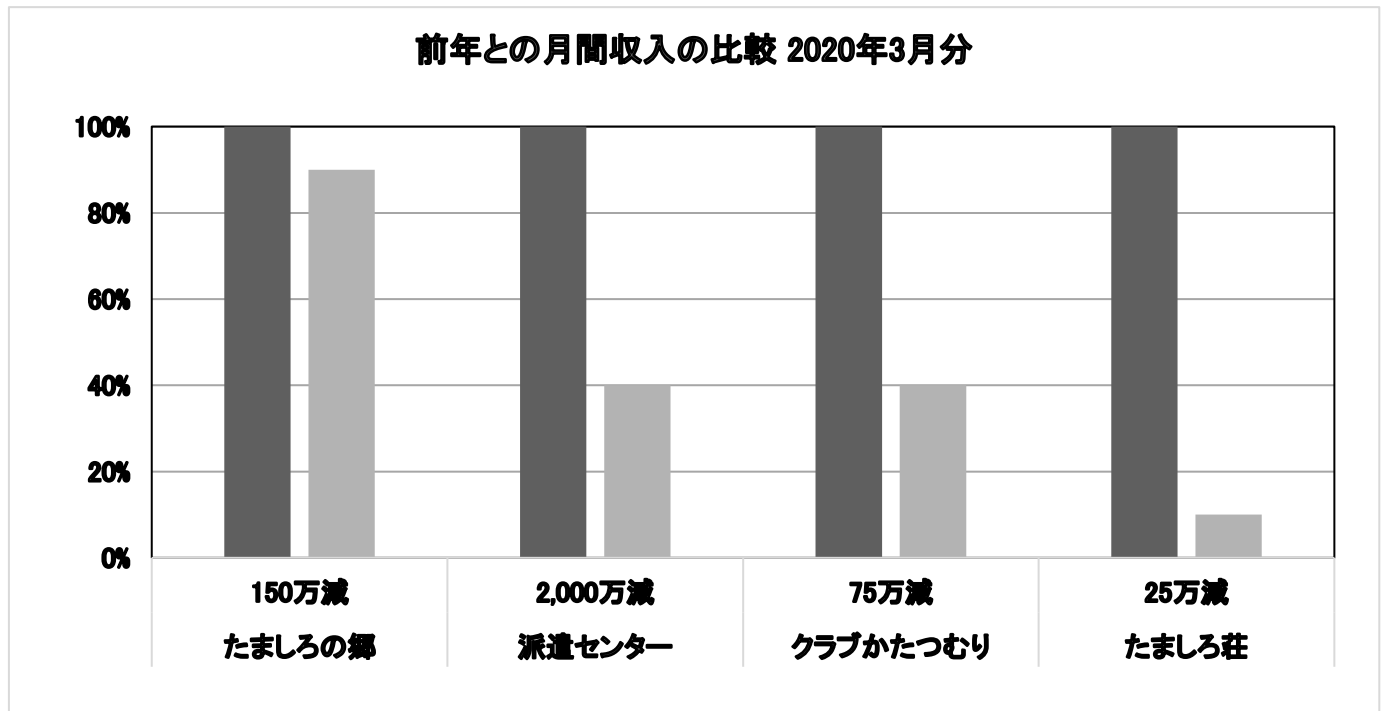
下記の物品をご寄付いただけますでしょうか。

お願いしたいもの

- ・マスク (未使用のものであればサージカル、布など)、透明マスクも可
- ・消毒用薬品類 (手指消毒用、室内消毒用) スプレー、ジェルも可
- ・除菌シート、ペーパータオル
- ・非接触式 (赤外線) 体温計



減収の状況



- ・たましろの郷⇒ 通所利用自粛のため、4月・5月の通所利用はさらに減少
- ・派遣センター⇒ 依頼数減少のため、4月・5月はさらに厳しい状況
- ・クラブかたつむり⇒利用自粛・縮小のため、5月はさらに20%減額見込み
- ・畑中たましろ荘⇒利用自粛（自宅待機、たましろの郷への緊急避難）のため

法人として、これまで以上に聴覚障害者の情報保障、生活の質の向上に努めてまいります。
一緒に困難を乗り越え、延期されてもバスツアーやフェスタ、耳の日などまた会いましょう！

◆ご寄付送金先口座

口座名義：社会福祉法人 東京聴覚障害者福祉事業協会

口座番号：郵便振替 記号番号 00110-5-026676

(銀行からは ゆうちょ銀行〇一九店 当座 0026676)

摘要欄に「コロナ」と入れてください。

◆物品送付先

〒160-0022新宿区新宿2-15-27 第3ヒカリビル6階

社会福祉法人 東京聴覚障害者福祉事業協会

電話 03-6273-0400

Fax 03-6273-0631

※お問い合わせ用メールアドレス (法人本部)

t-honbu@tokyo-shuwacenter.or.jp

